

橋本敦名誉会長の卒寿を祝う会盛大に

「橋本敦大阪平和委員会名誉会長の卒寿を祝う会」が10月14日大阪市内で130人超の出席で開催されました。

最初に、5団体(大阪平和委、民法協、憲法会議、勤労協、日ベト)で構成する「橋本敦先生の卒寿を祝う会」実行委員長梅田弁護士が開会挨拶。次いで辰巳孝太郎日本共産党参議院議員が「橋本先生は、私が生まれた1976年ロッキード事件で活躍された参議院議員の大先輩。高名はうかがっています。卒寿を祝うため選挙戦の合間を縫って駆け付けた」と祝辞。次に静岡から来阪した畑田重夫日本平和委員会顧問が「橋本さんと3つの共通点①自分は日本平和委員会の代表を務め橋本さんは大阪平和委の代表を務めたこと、②河上肇先生を互いに敬愛していること、③勤労協の学習運動とともに講師を務め、時には一緒に講演したこと―がある」と述べ、橋本先生の卒寿を祝いました。3番目に総評弁護団創立当初から橋本先生と60年来の付き合いのある内藤功日本平和委代表理事が祝辞(2面に掲載)を述べました。

この後、橋本ご夫妻に北大阪総合法律事務所的女性職員2人から花束が、藤永延代大阪市民ネットワーク代表から赤ワインが贈呈されました。次いで、渡辺武革新懇代表世話人の音頭で

乾杯し、歓談とアイリッシュハーブ、ベトナム一弦琴のミニコンサートを楽しみました。各界各分野7人の方からの祝いの言葉の後、北野大阪平和委常任理事が記念冊子「平和と民主主義を求めて―橋本敦先生の卒寿をお祝いして」のプレゼンテーションをしました。

橋本先生は、「国会時代で忘れられない二つのことを紹介します。一つは、ロッキード事件の訪米調査で決定的資料を入手し田中角栄首相を辞任に追い込んだこと。二つは、宮本顕治日本共産党委員長(当時参議院議員)に対する国会議員はく奪攻撃がなされたが、戦後治安維持法下の判決は取り消されたという証拠を示し宮本委員長を窮地から救った」「平和と革新の大義を貫いてこられたのは皆さんのご支援のおかげ。ありがとうございます」とお礼の言葉を述べられました。



「正義を洪水のように流れさせよ」

日本キリスト教改革派教会
牧師 弓矢健児



弓矢牧師

2年前の2015年9月19日未明、安倍政権は参議院本会議にて集団的自衛権の行使を容認する「安保関連法案」(戦争法案)を強行採決しました。8割もの国民が反対ないし慎重審議を求めた中で強行採決でした。そもそも集団的自衛権の行使を容認する「安保関連法」は、日本が武力攻撃されていなくても政府の判断だけで、同盟国と一緒に他国を攻撃することを可能とするものです。しかし、日本国憲法第9条は国際紛争を武力で解決することや、国の交戦権を認めていません。ですから、従来政府は、戦争を放棄した憲法第9条の下で許される武力の行使は、日本が直接武力攻撃を受けた時に、正当防衛として行使する個別的自衛権のみであるとしてきました。歴代自民党内閣も、内閣法制局もそのことを国会で証言してきました。

もし集団的自衛権が日本の平和と安全のためにどうしても必要だと政府が考えるならば、国

民にその理由をしっかりと説明し、憲法改正という正当な法的手続きを取らなければなりません。そうでない以上、政府は憲法第9条の平和原則をしっかりと守って行かなければなりません。なぜなら、為政者には憲法第9条で憲法尊重擁護義務が課せられているからです。これが立憲主義という近代民主主義国家の原則です。それにも関わらず、安倍政権は、憲法改正をしないまま、「解釈改憲」によって、憲法違反の「安保関連法案」を強行採決したのです。まさに安倍政権は立憲主義を否定する「違法な権力」であると言っても過言ではありません。

今、日本は安倍政権の下で正義と法が踏みじられたまま、国民の十分な理解もないまま、米国と一緒に再び海外で戦争のできる国へと向かっています。さらに、その総仕上げとして、安倍政権は憲法第9条の改悪を企んでいます。

私たちはそういう現実を、「仕方がない」と言って、ただ黙って見ていてはなりません。というのも、聖書を見ると神は私たちに、「正義を洪水のように、恵みの業を大河のように流れさせよ」(旧約聖書・アモス書5章24節)と命じているからです。私たちは、権力者たちが法の支配と正義を踏みじり、全体主義化していく現実に対して、し

っかりと抗議の声を上げていかねばなりません。私たちは不法な権力に対して、今こそ、正義を洪水のように流れさせて行くではありませんか。

府議会開会日行動

府民要求連絡会は、府議会開会日に当たる9月27日府庁前で集会&パレードを1500人の参加で実施しました。

集会では宮原たけし日本共産党府議が「総選挙で憲法改悪ノ、カジノ・ノーの審判を下し、府民要求実現の突破口にしよう」と呼びかけました。大阪平和委から上羽事務局長が参加しました。

今月の言葉―「核先制不使用 日本が障壁に！」

初島官時を閣議で検討するが、米政府が「核先制不使用」を主張する中、日本政府は「核の傘」に依存する立場を堅持し、断念していたことが、複数の関係者の証言で分かった。

(『中国新聞』8月6日別冊SELECT一面)





内藤功弁護士の祝辞

橋本敦さんが、このたび卒寿を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

橋本敦さんとは60年来のおつきあひになります。私にとって同志であり、信頼できる「兄貴」です。

60年前、総評弁護士団創立当初からのつきあひです。当時、関西では、民主法律協会が、労働組合と学者・弁護士の共同で結成されていきました。その基礎のうえに、関西総評弁護士団が創設されたこと承知しております。菅原昌人さん、亀田得治さん、東中光雄さん、石川元也さんらとともに、橋本敦さんはその中心となつて裁判闘争、弾圧反対闘争、労働法学習活動に奮闘されました。ご業績には注目し、学んでました。

1974年7月の参院選挙で、橋本さんと私はそれぞれ、勝利させていただき、参院で一緒に活動することになりました。橋本さんは、参院議院運営委員会の理事です。衆院では、東中さんが理事でした。躍進をした共産党に対しては、国会内でも、「共産党を除く」議事運営が進められてきました。その複雑困難な情勢下で、ご苦労されたと思います。でも、弱音をはかれることもなく堂々と党の正論を貫いておられました。

1975年公選法改悪反対では、二人が委員会の委員でした。理事会の際、いつも橋本さんと



東京から駆け付けた内藤弁護士

一緒に慎重審議を要求して、ついに、会期末までもちこみまし

た。本会議は賛否同数で河野議長の一票で可決されるというところまで追い込みました。事前に橋本さんと相談して、橋本さんのたてた作戦どおりやって、ここまで追い込めたと思います。自民党議員が「なかなか、ヤルもんだね」と言っていました。

1976年から始まったロッキード疑獄事件の調査に橋本さんは訪米調査団の中心として活動されました。語学力を活かし、ワシントン駐在の各社特派員も他党と比べて共産党とくに橋本議員の調査活動と成果は「ピカイチ」だと評価されました。

参院で国対委員長をつとめられました。当時毎朝9時に国会対策委員会が開かれます。委員長は松本善明、副委員長は、衆院は東中、正森、瀬崎。参院は橋本、神谷、内藤というメンバーでした。

橋本さんは、政治家としては洞察力、判断力、行動力、交渉力、事務能力、協調性等々、非の打ち所のない「万能選手」で

す。しかも謙虚です。よく心配りします。落選中の私のところへもよくハガキをくれました。独特の懐の広い筆跡です。

橋本さん、健康に留意されお元気で活動してください。無理をしないこと、転倒と風邪にご注意ください。われわれ後進を豊かな経験で指導してください。これをもってお祝いの言葉といたします。

ピース・エッグ成功

「一人ひとりが大切にされる未来」をテーマに9月16日〜18日にかけて愛知県青年の家で開催された「Peace Egg 2017」愛知には、全国から約100人の青年が集まり、大阪からも4人が参加しました。

『あなたにとって平和とは何ですか?』と問いかけたときにみんな思い浮かべるものは異なっていると思う。一人ひとりの平和の形を実現できるように青年が学び、考え、実現する場が「平和委員会」と初日に大阪平和委員会青年協議会議長の岩本悟さんが全国の青年に向けて挨拶されたのですが、今回のピースエッグはそれを体現しているかのように、深く学び、考え、広く交流し、表現したものだったと思います。

沖縄東村高江ヘリパッド建設反対運動、ヒバクシヤ国際署名推進連絡会キャンペーン、

AEQUITAS 東海(エキタス東海、最賃1500円など公正な経済社会を求めて活動する市民団体)の異なる分野で活動する3人の青年がパネリストとして運動に取り組みきつかけや悩みについて語ったシンポジウムに始まり、被爆体験の聞き取り、労働者の権利、沖縄基地問題、学費・奨学金問題、平和俳句のコンテストに分かれた分科会、核兵器廃絶に向けた情勢など幅広く学習しました。

個人的に印象に残っているのは、シンポジウム内で「直接的な問題の当事者ではない人が活動することの重要性」についてパネリストが三人とも述べていたことです。人種・民族・国籍・性別から居住地や雇用形態まであらゆる違いを越えて、人は誰かの生活や権利の維持・拡大のために行動することができるといいます。また、様々な人たちが参加できるような多様な運動のあり方を模索していきたいと思いました。

学習の後には必ずグループワークの時間を設けられ、「世界大会に参加して満足していたが、もっと勉強したり、現地に行ったりして知りたい」「分断されている人たちを結び付ける場を作りたい」「抑止力論が世界的に限界を迎えている今、『軍事費を削って福祉や教育に』と訴えることの重要性がいよいよ高まっていると思う」など感じたことや考えたことについて意見交換・議論が盛んに行なわれ、民主主



義らしさを感じました。(山本樹事務局員 記)

11月の行事案内

- 3 (祝) 総がかり憲法集会 14:00 中之島公園芝生広場
- 4 (土) 「美ら海を未来へ」上映 13:00~&15:20~
日本キリスト教団吹田教会
- 5 (日) 堺総会 10:00 堺市教職員組合会議室 西会長講演
- 10 (金) 安保・小泉親司氏講演会 18:15 大阪市住まい情報センター
- 12 (日) 堺母親大会「ザ・思いやり」上映
- 17 (金) サム・トゥッ・ソリ公演 エルおおさか 18:30 3000円
- 19 (日) 東桃谷9条の会学習会 13:30 生野区民センター 上羽講師
- 29 (水) 秋の憲法大学習会 18:30 エルおおさか南館
- 30 (木) 安保・吉田務名護市統一連事務局局長講演会
18:15 大阪市住まい情報センター